

児童虐待認定状況等について（令和2年度）

札幌市児童相談所における令和2年度の児童虐待認定件数は2,562件。前年度(2,401件)から161件(6.7%)増加。身体的虐待は若干減少(前年度比27件、5.3%減)したものの、ネグレクトは引き続き増加(同45件、8.4%増)。また、心理的虐待(1,477件)のうち、面前DVIに伴うものは1,186件で、80.3%を占めている。

1 児童虐待認定の状況

(1) 虐待の内容

(単位:人)

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待	合計	増減率
30年度	346 18.4%	12 0.6%	518 27.5%	1,009 53.5%	1,885 100.0%	-
元年度	508 21.2%	16 0.7%	538 22.4%	1,339 55.8%	2,401 100.0%	27.4%
2年度	481 18.8%	21 0.8%	583 22.8%	1,477 57.7%	2,562 100.0%	6.7%

(2) 被虐待児の年齢構成

(単位:人)

	3歳未満	3歳～就学前	小学生	中学生	高校生・その他	合計
30年度	396 21.0%	384 20.4%	650 34.5%	307 16.3%	148 7.9%	1,885 100.0%
元年度	509 21.2%	517 21.5%	841 35.0%	354 14.7%	180 7.5%	2,401 100.0%
2年度	459 17.9%	654 25.5%	882 34.4%	377 14.7%	190 7.4%	2,562 100.0%

(3) 主な虐待者

(単位:人)

	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	合計
30年度	818 43.4%	144 7.6%	869 46.1%	12 0.6%	42 2.2%	1,885 100.0%
元年度	1,115 46.4%	181 7.5%	1,038 43.2%	11 0.5%	56 2.3%	2,401 100.0%
2年度	1,124 43.9%	188 7.3%	1,184 46.2%	8 0.3%	58 2.3%	2,562 100.0%

2 通告受付の状況

令和2年度の児童虐待通告件数は2,078件で昨年度とほぼ変わらないが、虐待として認定した件数(1,163件)は増加(前年度比149件、14.7%増)。

通告経路では、警察からのものが1,187件と最多(面前DVIに伴う心理的虐待の通告によるものが多い)。

(1) 児童虐待通告受付件数

(単位:世帯)

	通告件数	増減率	通告のうち虐待認定件数
30年度	1,497	-	839
元年度	2,100	40.3%	1,014
2年度	2,078	▲1.0%	1,163

(2) 児童虐待通告経路

(単位:世帯)

	家族			親族	児童本人	近隣・知人	福祉事務所・児童委員等	保健センター等	保育所・児童福祉施設等	医療機関	学校等	警察	その他	合計
	父	母	その他											
30年度	24	14	1	37	9	391	28	1	27	29	79	831	26	1,497
	2.6%			2.5%	0.6%	26.1%	1.9%	0.1%	1.8%	1.9%	5.3%	55.5%	1.7%	100.0%
元年度	29	18	9	29	14	598	19	8	22	28	107	1,150	69	2,100
	2.7%			1.4%	0.7%	28.5%	0.9%	0.4%	1.0%	1.3%	5.1%	54.8%	3.3%	100.0%
2年度	13	10	1	30	21	567	44	4	33	28	83	1,187	57	2,078
	1.2%			1.4%	1.0%	27.3%	2.1%	0.2%	1.6%	1.3%	4.0%	57.1%	2.7%	100.0%

※ 本資料において、計数(割合の部分)は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。